



令和7年5月30日発行

やっと心地よい季節がやって来たと思ったらその間は短く湿気の多い季節が訪れ、大人にとっても子どもにとっても過ぎにくくなりますね。新年度の疲れも出て体調も崩しやすくなりますので、健康管理に心掛けましょう。園では子ども達の様子を見て雨の日も楽しめるプログラムを立てていきます。雨の日が楽しみ！という子も出てくるかもです。毎日、元気に登園して来てください。



しゃぼん玉遊び

2日(月) 歯科健診 9:10~
4日(水) 交通安全教室(つき・かぜ・もりのこ対象)
5日(木) ハウス食品カレークッキング
19日(木)・20日(金) 身体測定
24日(月) 口を育む教室(もりのこ対象)
28日(金) 避難・消火訓練
※5.6月はかぜのこ・もりのこの保育参加

6月の予定



しゃぼん玉遊び

おしらせ・おねがい



- * 登降園後に門が開いたままになっていることがあります。保護者の方は、必ず閉めたことを確認してください。
- * 気温や湿度と相談しながら、水遊びをはじめていきます。持ち物は学年だよりをご参照ください。水遊び参加の可・不可を玄関カウンター上の名簿にチェックをしてください。チェックがない場合は参加させてあげられませんが、毎日、必ずチェックしてください。
- * 5月の奉仕活動のご協力、ありがとうございました。子ども達は園舎や園庭、農園を自分のお父さんやお母さんがきれいにしてくれる様子を見て、とても嬉しそうでした。9月、12月も引き続き、よろしくお願いします。
- * 5月から実施しております『保育参加』にご参加いただきありがとうございます。参加される方は当日お子様と一緒に9時前に来園してください。持ち物は水筒、お箸、帽子、着替えとタオル(水遊びがある場合)等です。給食終了時で終わりになりますがその後、一緒に降園し、お子さんと二人だけの特別な時間を過ごされるのもいいですね。お仕事に行かれる場合は通常通りお預かりします。参加希望の日について、対象の学年の保護者の方に順にメールにてご案内しています。希望日を玄関カウンター名簿にご記入ください。『保育参加』では、保育士体験をする中で、園での子どもの様子を見て感じながら、子ども達と一緒に楽しんでください。ぜひ、給食も食べてみてください。
- * 2日の歯科健診、24日の交通安全教室の詳細は『ぼうけん』をご覧ください。

園長だより

皆様をご存知の通り、れんりの子は保育方針「食農保育を通して『共に生きる力』育む」を中心に食・自然・遊び・人と関わる暮らしの中で保育を行っています。職員は常にそのことを意識して保育するように職員の全体会議で皆で読み上げています。大人が意識して環境を整えたり、自ら行動しその姿を見せたりすることで子どもは自然と興味をもち、その子の気持ちとマッチすればそこに意欲が生まれ、どんどん発展していきます。今回は、2つの事例をご紹介します。

〈事例1〉春にはたくさんの花が咲いていました。「きれいだね。なんていう名前の花だろう?」の問いかけから、早速図鑑で調べ出し、「ちがう はなもしらべたい」となり「しらべた はなを かいてみたい」と発展していきました。描いた紙を保育室に並べておくと「このかみを あつめて 『もりのこずかん』をつくりたい」と更に発展し、調べた花の名前や花の絵に加えて育てていた環境なども書き込んだり写真を貼ったりして、『もりのこずかん』を作りました。今度は夏に昆虫図鑑か野菜図鑑を作りたいという意欲もあるようで、楽しみです。

〈事例2〉「このむし、きけんな むしなんだよ」「よく知ってるね」「じゃあ、このむしは? 保育園の周りにはどんな虫がいるかみんなで探してみる?」「うん! さがす~!」その日からほぼ毎日、ミニ図鑑と虫かごを手で虫探しをしています。はじめは興味がなかった子も今ではミニ図鑑を肌身離さず持っていて、難しい虫の名前を博士のようにみんなに伝えています。図鑑に載っていないことはタブレットで調べています。「このテントウムシ、ジャガイモのはっぱにいた」「みんなに教えてあげたいね。地図に書こうか?」「うん、むしのちずをつくろう」と『かぜのこの虫マップ』作りに発展し、新しく発見した虫をどんどん虫マップに書き込んでいます。

周りの大人が子どもの声や行動を認め、ちょっとだけ背中を押してあげることで、興味や関心がぐ~んと深まり「もっと知りたい」と意欲的になります。幼児期のこのような体験はとても大切で、将来の学びに繋がります。私も子ども達と調べることで新しい発見や学びがありました。保護者の皆さんもお子さんと何かに夢中になってみませんか?